

経営比較分析表（令和2年度決算）

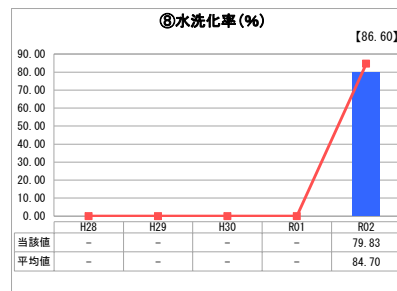
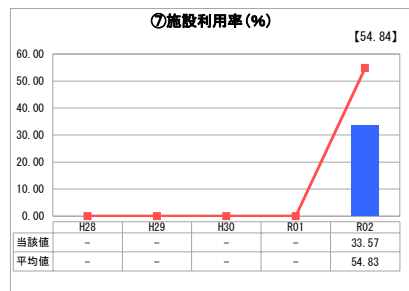
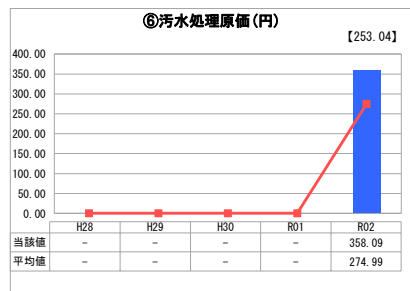
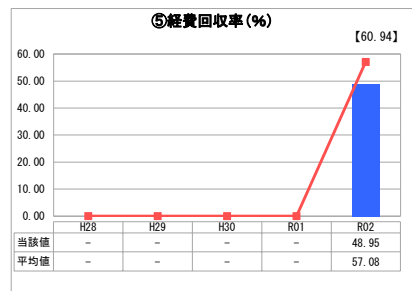
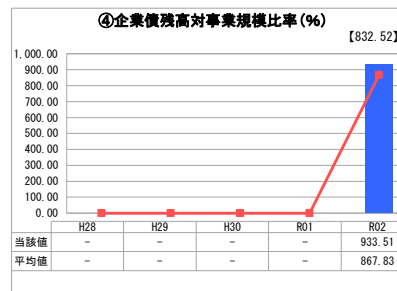
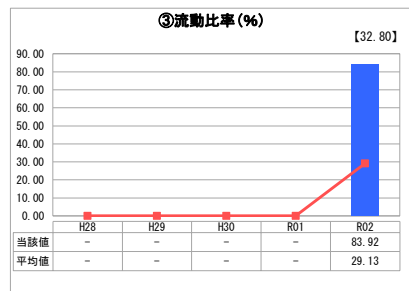
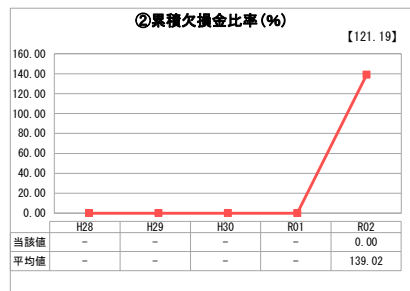
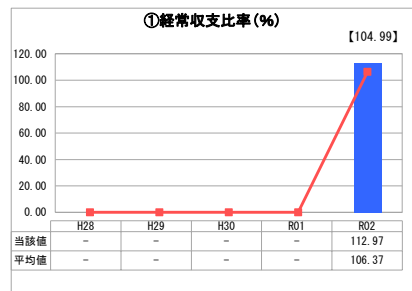
山口県 美祿市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	79.42	12.58	94.33	3,996

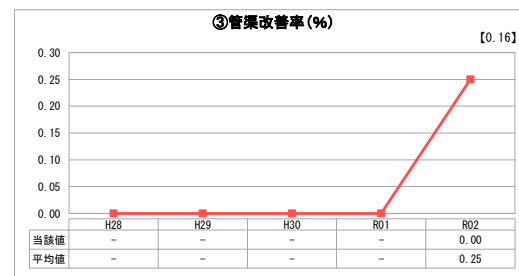
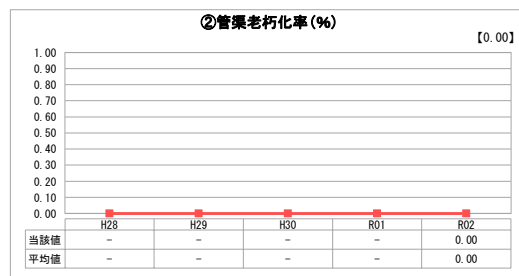
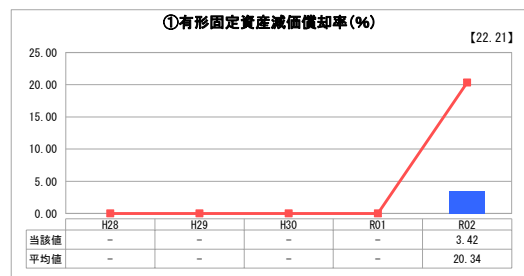
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,375	472.64	49.46
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,910	2.28	1,276.32

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「経常収支比率」は類似団体平均値並に100%を超えており、今後も事業の効率的運営を努めていく。
 「累積欠損金比率」は黒字決算となっており、累積欠損金も発生していない。
 「流動比率」は類似団体に比べ高い数値となっているが、老朽化による施設更新等を考え、今後も資金確保に努める。
 「企業債残高対事業規模比率」は、令和2年度は公会計移行事業の財源として借入を行ったため、類似団体より高くなった。
 「経費回収率」については、類似団体と比べて低い数値となっており、汚水処理費の削減等が必要である。
 「汚水処理原価」については、類似団体に比べ高い数値となっており、維持管理費の削減に努めていく。
 「施設利用率」は、類似団体と比べて低い数値である。
 「水洗化率」は、類似団体と比べて低い数値となっており、接続率の向上に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水施設において、供用開始から10～20年近く経過しており、機器の故障や施設・管渠の老朽化が懸念されている。そのため、平成28年度に機能診断調査を行い、平成29年度には最適化構想を策定した。今後は構想に沿って改築更新を行っていく予定である。

全体総括

令和2年度より地方公営企業法の適用を受けることとなった。
 平成29年度に策定した最適化構想により、計画的に施設の改築更新を行うとともに、ライフサイクルコストの低減を図り、安定的な事業運営に努めていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。